



第327号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311



桜咲けども

お花見のシーズンとなり、自然と心が浮き立つようです。桜咲けども肌寒い日が続いており、皆様いかがお過ごしでしょうか。桜咲けども



カット：本多紘子

晴れやかな入学式のニュースに心はずみませんが、希望の高校や大学に入れなかったお子様達の家族はちよつとだけ失望されているでしょうか。また、お子様が保育園に入園出来ず、働くことを予定していた若いお母さん方が困っている新聞報道を見ると切ないですね。若い労働者が減り、女性の活躍の場が増えているのは良いことですが、女性も働かないと生活が出来にくい世の中になりつつあるのかな。それならいつそのうちのこと、ゼロ歳児からでも安心して預けられるシステムを国の社会保障費で出来ないものだろうか。赤ちゃんの一番大変なときが、実は一番可愛いときなのですが、だれか周りできき助けてくれる人がいないと、子育ても灰色になってしまいます。安心して子育てが出来ると、社会の絆を大切にしたいですね。

4月は新年度が始まり、子供たちも新しい学校、新しい学年になります。楽しみに思っている人も多いと思いますが、生活環境が大きく変わるこの時期は、不安や悩みを抱えやすい時です。苦しみや悲しみを一人で抱え込まず、良き相談者を見つけて欲しいものです。

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

東日本大震災から丸6年がたち、大津波で町も家族も失った東北三県の被災者たちが、少しずつ故郷の復興に歩み始めました。昔の面影も残らない被災した港町は、津波に襲われないうちに土地をかさ上げして、新しい故郷づくりを目指す。福島県の第一原子力発電所の被災で放射能汚染をした地域では、故郷に戻れる地域と戻れない地域に分かれ、被災者に悲しみが沈殿しています。故郷を見捨てざるを得ない人々の悲しみと辛さ、本当は故郷の大地に見捨てられたのかも……。中国の唐の時代に活躍した善導大師は『定善義』に西方の浄土を慕い「いざ帰りなん 魔境には停まるべからず 曠劫よりこのかた流転して 六道ごとごとく皆へたり 到る処に余の樂しみなし ただ愁歎の声のみを聞く 此の生平を畢えて後 彼の涅槃のみやこに入らん」とありますが、「さあ帰ろう。魔の世界に停まってはいけない。数えきれない昔より迷い続け、地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天人の六道の世界を歩んだが、どの世界も本当の楽しみはなく、ただ歎きと悲しみの声しか聞かない。この命が終わったとき、本当に安らかな西方の極楽浄土に生まれたい」という意味の偈です。

東京都の食を賄う老朽化した築地市場から新しい豊洲市場に移転するのに土壌の汚染問題が発覚して、市場関係者が移転できずに苦しんでいます。また、大阪府豊中市の国有地を近畿財務局が、森友学園の小学校建設用地として異常な安さで土地を払い下げし、政治家の何らかの働きかけがあつたのではないかと問題となっています。日本だけでなく、お隣の韓国でも朴大統領が機密文書流出の違法行為と収賄の疑いで憲法裁判所から大統領の罷免を宣告され、韓国の国内も混乱しています。また、世界中で貧富の格差が広がり悲しいことです。

人間は、自分本位の我欲にもっともらしい正義の理屈をつけて主張し、自己を正当化する。欲望が充足しているときは、借りてきた猫のようにおとなしいが、その流れがせき止められると、手がつけられないほど凶暴となる。人間よ、驕るなかれ。合掌 (奥原 曇龍)

『人間の驕りが争い生み出すよ 互いを敬い浄土を願おう』 どんりゅう



カット：奥原 唯

ともしび説法

日時・四月十六日「日曜日」 午前十時半から午後四時まで
午前はピアノ・パンフルート演奏 午後から法要儀式・仏教講演。
場所・倉敷市早高 426 新本堂 電話 086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方

心光寺 倉敷 検索



お釈迦様ものがたり ⑥

アリアン人がインダス川上流の西北地方から、インドに侵入し始めたのが西暦前一五〇〇年頃からで、先住民を征服し、天地自然を神格化して、神に祈りを捧げました。

そして、西暦前一二〇〇年―一七〇〇年頃の時代をブラーフマナ時代と呼び、アリアン人の支配制度であるカーストが決められ、アリアン人の安定した社会となります。純粋な種族で最高の知識人として学問と祭事を司ったバラモン階級、異民族と混血して戦争や政治をした王族階級、同じ混血でも農業・牧畜・商業・工業に従事した庶民階級の下に、先住民で征服されたドラビダ人たちが奴隷階級として、支配制度が今も生きています。

次の西暦前七〇〇年以降をウパニシャド時代と呼び、アリアン人達は進路をガンジス川上流地域から中流地域へと拡大します。そしてこの新興地域に置いては、腐敗・墮落していた形式的権威のバラモン階級に変わって、実質的な権力を持った王族階級が支配し、混血を行いながら国土を開発し、新しい都市を作り、水陸交通路を整備し、遠い土地まで物資の公益と売買を行い、栄えて行きます。

従来のバラモンの教説は、人の幸・不幸のおこる原因はバラモンの文獻に規定することを行なうか行わないかにあるとしており、人間の運命を変えて貰うにはバラモンの神を喜ばせ、神に対してたくさんのお供養が必要だとし、祭司者バラモンがずるい手段で私腹を肥やしはじめ、本来の義務を忘れ、教学の実践と民衆の精神的指導力を失ってしまい、新しい思想が生まれてくるのです。

お釈迦様が誕生する二〇〇年前に、バラモンたちの精神文化が退廃するなかにあつて、真剣に人生の真理を探究し、自我に目覚めつつあつた一群の人々が新しい思惟を持ち、我々自身の行為の善悪によって、運命が決まる因果応報説が生まれます。合掌(奥原曇龍)



ともしび郵送の手伝い仲間

ともしび法話

春たけなわの季節、皆様いかがお過ごしですか。お寺では春の永代経法要の準備で大忙しです。また、四月十四日には京都にバスで寺参りもあり、気が抜けません。お寺の子供たちも成長し、四月から長女の綾は社会人、弟の龍は大学三年、次女の唯は大学一年、それぞれ頑張っています。心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

園丁の落葉掃く音休みなく
茶の花の黄の芯見せてひっそりと
茶祖堂の一隅白き冬椿
倉敷市茶屋町 白土 浩一

四月十六日、心光寺の春の永代経法要は楽しみです。午前はハンドベル・ピアノ演奏・パンフルート演奏、午後からは法要儀式と仏教講演。皆様も気軽に参ろうよ。
倉敷市西中新田 古谷 洋子

新しい山門くぐり心光寺

先祖も喜ぶ春の法要

生き死にを仏にまかせて南無阿弥陀仏

扉開ければそよ風微笑む

倉敷市中島 山田 孝治

夜桜やともしび映える寺の庭 お経の声に亡き父母偲ぶ 田辺多恵子

ともしび説法

日時・四月 十六日「日曜日」 午前十時半から午後四時まで
午前はピアノ・パンフルート演奏 午後から法要儀式・仏教講演
場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて
電話・(086)420-1311 駐車場有り
(宗派をとわず、まじめに人生を考えているあなたに参加していただきたいのです。)

○ともしび説法・お寺の行事予定
五月 十二日(金)・午後一時から午後四時・早高の本堂。
六月 二十二日(木)・午後一時から午後四時・早高の本堂。
七月 二十一日(金)・午後一時から午後四時・早高の本堂。

☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。
ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方の費用がかかります。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。
会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)

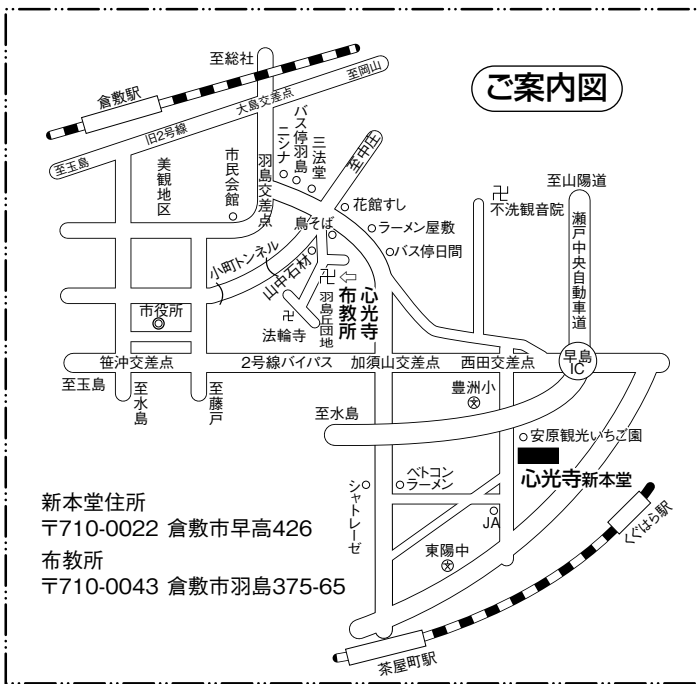


つぼみの詩

淡い桜の花びらが光っている
家族そろってのお花見も
これが最後かもしれないと思うと
その姿がとて愛おしくなる
らいねんも さらいねんも
懸命に花は咲く
花びらは散るから美しい



カット:吉岡美枝



新本堂住所 〒710-0022 倉敷市早高426
布教所 〒710-0043 倉敷市羽島375-65

◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございます。ごさいました。
倉敷市 高尾様 高橋様 田邊様 三千元
倉敷市 馬淵様 平川様 杉本様 宮武様 上中様 早島町 仁熊様 神原様 四千元
倉敷市 前島晴美様 尾道市 奥原敏雄様 五千元
倉敷市 重政修様 一万元

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。
お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらうより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426
浄土真宗(じょうとしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「327号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。4月16日の法要の日には、倉敷駅西ビル横の駐車場に9時40分、茶屋町駅西口に10時10分に、お寺より自動車でお迎えに行きます。車の送迎が必要な方はお寺まで、ご連絡下さい。 合掌 総代長 三村健